



の が き 野垣あきこ

子ども・暮らし・平和



2025年3月19日 No.214 連絡先 090-9293-8710 ご相談もどうぞ!

駅での転落・人身事故防止に向け

2028年度末までに JRが区内の4駅にホームドアを設置



3月3日、JR東日本は、2028年度末までに、中央線・総武線の各駅を中心にホームドアを設置するとの見解を発表しました。

障害者団体や鉄道利用者、党区議団の要望が実現へ

現在、都内のホームドアの整備率は、都営地下鉄は100%、東京メトロは95%に達していますが、JRと私鉄の駅では計35%にとどまっています。

JRに長年要望してきた 党区議団と原田あきら都議

党区議団と原田あきら都議は、JR東日本に対し、ホームドアや誘導用点字ブロックの設置などを求めてきました。

2020年の申し入れ（写真左上）では、2032年までに杉並区内の4駅を含む主要駅にホームドアを設置する予定、と回答していました。

しかし、その前年に都が公表した「鉄道駅バリアフリーに関

友人を助けて事故に遭った方のコメント

2022年に阿佐ヶ谷駅のホームから転落し総武線にひかれてケガをしました。一緒にいた友人は助けることができず死亡しました。大きな鉄の車輪からのびていた彼の足を忘れられません。

駅員、救急隊、医療現場の皆さんのおかげで私1人は命を助けられ、退院して戻ることができました。たくさんの仲間たちに支えられてリハビリも頑張っ、なんとか生活できています。

昨日、大切な友人が死亡しました。私の車イスを押して阿佐ヶ谷駅前と一緒に立ち、阿佐ヶ谷駅にホームドアをつけてくださいという署名を集めるのを手伝ってくださいました。彼にとっても嬉しい報告ができることになり、ありがたいです。鉄の塊に人間は叶わないし、病気はいつ命を奪うか誰にもわからない。この街でみんなが生きていけることは奇跡のように愛おしいことです。ホームドアで守られる人の一人一人がこれからも生きていけることに感謝します。

する優先整備の考え方」では、ホームドア設置助成の対象を拡大し、特別支援学校や病院、庁舎など駅周辺の特性及びホームの状況などを考慮し、乗降客10万人未満の駅でも助成することとしており、鉄道事業者の費用負担は総額の三分の一で済みます。

対応の遅さを指摘してきましたが、今回計画を前倒ししたこと重要な成果です。

整備する予定の駅は、以下のJRの報道発表からご覧ください。



東京都が補助を拡充の方針

昨年の8月、都は鉄道事業者10社などとともに「ホームドアの整備加速に関する協議会」を立ち上げました。

2月10日の協議会では、これまでの目標達成時期を前倒し、2028年度末までに都内JRと私鉄駅全体の約6割にホームドアの設置を目指すとの目標を盛り込んだ共同宣言が出されました。

宣言により、都は28年度にかけ集中的にホームドア整備の補助制度を拡充する方針です。

引き続き、杉並区内のJR以外の全ての駅にもホームドアの設置を求めていきます。

動議により懲罰特別委員会を設置 議会は毅然とした対応を



▲質問中に暴言、右手を振り上げ演壇を叩く田中議員

3月18日、杉並区議会の本会議で、「田中ゆうたろう議員に対する懲罰動議」が上程され、懲罰特別委員会が設置されました。
ハラメント行為に対し問われる各党派・委員の態度

2月19日、田中議員は一般質問中に教育長などに顔を向け大声を出し、机を叩いて威嚇しました。直後に議長が2度にわたり注意しましたが、田中議員からは謝罪などはありませんでした。

本会議終了後、議会運営委員会・理事会が開かれ、共産、立憲、公明、維新・無所属などから、問題行為について厳しい対応をすべきと意見が出されましたが、自民、無所属・都民ファーストからは「議長の注意で十分」との立場での発言があり、理事会としては対応の合意に至りませんでした。
2月21日、党派議団をはじめ21名の超党派の議員は、連盟で議長に懲罰動議を提出しました。

3月18日、本会議で、田中議員は26分にわたって弁明し、区民に真に謝罪すべきは区長、副区長、教育長や一部区議会議員だとし、もし今回懲罰が可決されれば数の暴力だ、動議を撤回を求め、と述べました。

懲罰特別委員会を開催

弁明の後、杉並区議会会議規則の規定に沿って、懲罰特別委員会が設置されました。委員数は12名で、党派議団からは富田たく議員が指名されました。

懲罰特別委員会では、始めに委員長選挙が行われ、堀部やすし議員（無所属）が委員長に選出されました。無所属・都民ファーストの宇田川ゆうじ委員は開会直後に退席しました。

懲罰に関する委員会の設置は杉並区議会史上初めてのことで、委員長からは、全国の地方議会の事例に詳しい学識経験者を参考人として呼び、慎重に審議を進めていきたい旨の提案があり、全員が賛同しました。

懲罰特別委員会の委員
自民／吉田あい、藤本なおや
共産／富田たく
公明／渡辺富士雄、中村康弘
立憲／ひわき岳
維新・無所属／鈴木ちづる
無所属・都ファ／宇田川ゆうじ
ネット／そね文子
個人党派／奥山たえこ、木梨もりよし、堀部やすし(委員長)

懲罰特別委員会では、参考人の人選などの準備を開始し、次回委員会で、今後について協議する予定です。6月の第2回定例会までの採決に向けて審議を進めるとしています。

西武新宿線の地下化とまちづくり
～ 下北沢から学ぶ ～

3/30(日)
13時～
八区民集会所

参加費 100円
講師 下平憲治さん(SaveThe 下北沢)

あきりの部屋

石破首相が新人議員に10万円の商品券を配ったことで、政権支持率は急速に低下しています。しかし、これは石破首相に限ったことではなく、歴代自民党政権の慣習だそう。そうなること、官房機密費が使われた可能性が極めて高いこととなります。

つかみ金と言われる機密費ですが、17日の小池晃議員の質問では、石破首相は昨年10月～今年1月で4億円近くの機密費を出金していることが明らかに。

裏金や企業団体献金は、今や共産党以外の野党も禁止を主張するまでに。これまで政治資金パーティを開催していた議員や政党も、今後は開催しないというムードになってきています。

税金は官房機密費などの裏金でなく被災地支援や物価高騰対策に使わせるために、法整備がどうしても必要ではないでしょうか。しんぶん赤旗の裏金スクープと共産党の追究が、国民の世論を大きく動かしています。